

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	障害者自立支援機器等研究開発プロジェクト	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部	担当課室	企画課自立支援振興室	矢田宏人		
会計区分	一般会計	上位政策	障害者の自立支援等に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算事業	関係する計画、通知等	平成21年6月3日障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援機器等研究開発プロジェクト)に係る平成21年度実施協議について			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の自立を支援するためには、マーケットが小さい等の理由で開発が進んでいない支援機器や技術に関する研究開発が必要不可欠である。このことから、開発を行う企業及び公的研究機関、リハビリテーションセンター等が連携し、実証実験等を通じて障害者等が実際に使いやすい機器等の開発を促進するに必要な情報を得て、障害者の自立支援機器の開発促進に資することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	障害者からのニーズは多いが、マーケットが小さい等の理由により開発が進んでいない支援機器や技術について、企業、公的研究機関等が開発を支援し、障害者が実際に使いやすい機器の試作機の開発や、開発した技術の公表等を行うことにより、今後の支援機器開発の促進する。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像・GPS等のセンサ統合による日常利用の可能な屋内外の視覚障害者歩行支援システムの開発</li> <li>安全に配慮された電動車いすの開発</li> <li>障害者が自立して住みやすい住環境モデルの構築 等 12テーマについて実施</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)			1,000	-	-
	執行額			1,000		
	執行率			100%		
	総事業費(執行ベース)			1,000		
自己点検	支出先・使途の把握 水準・状況	研究開発者(企業、研究機関、大学等)に対する開発促進に必要な経費(1テーマ30百万円から150百万円の合計1000百万円)として12施設(テーマ)に補助を行い適正に執行されている。				
	見直しの余地	○平成21年度補正予算に計上した、単年度事業であり、21年度限りで終了している。				
予算監視の 所見率化	本事業の目的は概ね達成されたと判断し、平成21年度をもって廃止している。					
補記						

厚生労働省  
1,000百万円

〔企業、公的研究機関等の研究開発者に対して障害者の自立支援機器の開発促進に必要な経費を交付〕



【公募・補助】

研究開発者 (企業・研究機関・大学等) 1,000百万円 12施設			
番号	名前	所属	金額(百万円)
1	A	静岡県立大学	149
2	B	独立行政法人 産業技術総合研究所	131
3	C	独立行政法人 産業技術総合研究所	126
4	D	株式会社 今仙技術研究所	95
5	E	独立行政法人 産業技術総合研究所	92
6	F	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	85
7	G	独立行政法人 産業技術総合研究所	72
8	H	株式会社 日立製作所	69
9	I	株式会社 日立製作所	62
10	J	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会	50
11	K	シナノケンシ株式会社	42
12	L	株式会社 日本テレソフト	26

〔企業、公的研究機関の研究開発者が開発〕

(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

静岡県立大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	システム開発役務等	99			
消耗品費	携帯サーバー用PC	14			
賃金	賃金職員	12			
委託費	出版会社 データ作成等	8			
光熱水費		7			
備品購入費	音声点字端末等	6			
旅費	調査旅費等	2			
その他	謝金等	1			
計		149	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)